

第2部 計画推進の基本姿勢（素案）

『活力があり、県民が日本一幸せな県』の実現に向けた基本的な考え方を示します。

1 県民とともに挑戦する「茨城づくり」



- ・国、市町村、民間企業、関係団体など多様な主体との緊密な連携のもと、県民のみならず県民とともに「新しい茨城づくり」に挑戦します。
- ・前例にとらわれない発想により、失敗を恐れず果敢に挑戦するとともに、全てにおいて高付加価値体質となることを目指すことにより、新しい時代を切り拓いていきます。

2 未来を展望した政策展開



- ・本県を更に発展させるため、地域の特性や強みを活かし、潜在力を最大限に引き出すとともに、医療・教育・産業育成など、未来を見据えた政策を展開します。
- ・急激な人口減少があらゆる局面に影響を及ぼし、各地域が様々な課題を抱える中、その解決を図るため、分野横断的な政策を推進します。

3 戦略的な行財政運営



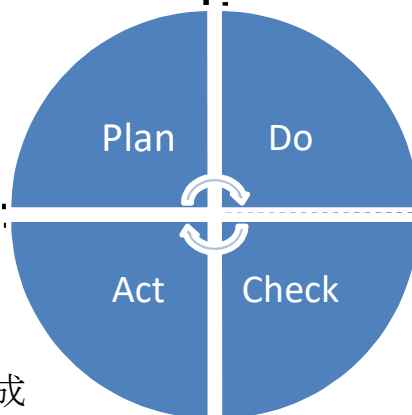
- ・県民本位の施策やサービスを提供するため、県職員の挑戦する意識の醸成や、仕事の進め方の見直し、ICT活用等を積極的に進め、県庁全体を挑戦する組織へ転換します。
- ・スクラップ・アンド・ビルドに不断に取り組むとともに、本県を大きく飛躍させるために必要な事業には重点的に予算を配分するなど、財源の有効活用や「選択と集中」を徹底します。

4 政策の効果検証・改善による目標実現へのチャレンジ

- ・PDCAサイクルを政策レベル、事業レベルでそれぞれ確実に回して効果検証を適宜実施し、改善方策を政策・事業・予算に反映させることにより、目標の実現にチャレンジしていきます。

- 総合計画の策定
- 総合計画に基づく事業等の企画立案、N年度当初予算編成

- 次期総合計画へ反映
- 政策評価等を反映した事業等の企画立案、N+1年度当初予算編成
- 事業の執行見直し、制度改善



- 国、市町村、民間企業、関係団体など多様な主体との緊密な連携のもと、事業実施

- 総合計画審議会による進捗評価
- 政策評価
- 事業進捗管理
- 予算編成過程などの議論